



安全データシート

Copyright, 2021, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	10-2603-8	版	13. 01
発行日	2021/09/13	前発行日	2021/02/17

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

スコッチキャストレジン # 2 6 5

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	電力マーケット技術部
電話番号	042-770-3491

2. 危険有害性の要約

GHS分類

有害とは分類されない。

GHSラベル要素

注意喚起語

適用しない。

シンボル

適用しない。

ピクトグラム

適用しない。

その他の有害性

可燃性粉塵濃度に達することがある。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
ビスフェノールAジグリシジルエーテル・ビスフェノールA コポリマー	25036-25-3	85 - 95
ジシアンジアミド	461-58-5	3 - 7
溶融あるいは合成非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	112945-52-5	0.1 - 1

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

石鹸と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消化するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

粉塵は爆発性混合気を生じることがあるので、浮遊粉塵を生じるような方法で消火しない。

有害な分解物または副生成物

物質

アルデヒド
一酸化炭素
二酸化炭素
塩化水素
アンモニア
窒素酸化物

条件

燃焼中
燃焼中
燃焼中
燃焼中
燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。漏えいした場合、着火源を除去すること。新鮮な空気でその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。他のセクションの使用上の注意を見る。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩した物質を出来る限り多く回収する。粉塵の空気中への放出を避ける。（圧縮空気によるブロー等）粉塵の発生をさけるために電気掃除機を使う。注意：モーターは着火源になり得る。密閉容器に収納する。残さを清掃する。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。粉塵は着火源があると爆発することがある。可燃性粉塵が蓄積しないように定期的に清掃する。移送や混合により帯電すると点火源となる。アース接地、接合、低速・短距離輸送などの低エネルギー輸送法、不活性環境などの注意喚起の必要性を検討する。

保管

特別な貯蔵条件はない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション 3 に記載されたいずれの成分についても、許容濃度は無い。

ばく露防止策

設備対策

熱硬化処理を行う場合は適切な局所排気装置を使用する。熱処理オーブンの排気は屋外又は排気設備に放出すること。空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。粉塵発生源付近での暴露抑制及び作業区域への粉塵の流入防止のために製造現場に局所排気を準備・提供する。粉塵の除外システム、搬送システム、加工機などの防爆性が必要かを検討する。爆発時の逃し弁、爆発防止、酸素遮断などの必要性を検討する。排気ダクト、集塵機、処理装置など、作業環境へのダスト流入防止システムがあることを確認する。防爆電気機器の必要性について検討する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。
サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

化学防護手袋は不要。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
微粒子用半面形あるいは全面形防じんマスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体
物理的状态:	粉状
色	オフホワイト。
臭い	エポキシ
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない。
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	適用しない。
引火点	引火点なし [試験方法: 推定値]
蒸発速度	適用しない。
引火性 (固体、ガス)	区分されない。
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	適用しない。
蒸気密度/相対蒸気密度	適用しない。
密度	1.16 g/ml
比重	1.16 [参照基準: 水=1]
溶解度	なし。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	適用しない。
揮発性有機化合物	0 %
揮発分	0 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物	0 %

(JIS-GHSの要求項目ではない)	
モル重量	データはない。
*粉塵爆発指数 (Kst)	70 - 250 bar.m/s [詳細: 代表範囲]
*爆発下限濃度 (MEC)	35 - 55 g/m ³ [詳細: 代表範囲]
*最小着火エネルギー (MIE)	3 - 100 mJ [詳細: 代表範囲]
*着火下限温度 (MIT)- 粉塵	450 - 550 °C [詳細: 代表範囲]

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

表中でアスタリスク()を付した値は、原材料と特定の製品のテスト結果から得た代表値である。また粒子径の変化を含む物質の特性は、加工施設での工程や設備条件、あるいは他の物質との混合などによって変化する可能性がある。物質の詳細な特性を得るために、使用施設における各種要因に配慮した特性評価試験を行なうことを推奨する。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

火花ないし炎

混触危険物質

未確定

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

機械的な眼刺激： 疼痛、発赤、流涙、角膜創傷などの症状。

皮膚に付着した場合

機械的な皮膚刺激： 創傷、発赤、疼痛、かゆみなどの症状。

吸入した場合

気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

毒性データ

セクション 3 に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
ビスフェノールAジグリシジルエーテル・ビスフェノールA コポリマー	皮膚	ラット	LD50 > 1,600 mg/kg
ビスフェノールAジグリシジルエーテル・ビスフェノールA コポリマー	経口摂取	ラット	LD50 > 1,000 mg/kg
ジシアンジアミド	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
ジシアンジアミド	経口摂取	ラット	LD50 > 30,000 mg/kg
溶解あるいは合成非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
溶解あるいは合成非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
溶解あるいは合成非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ビスフェノールAジグリシジルエーテル・ビスフェノールA コポリマー	ウサギ	刺激性なし
ジシアンジアミド	ヒト及び動物	わずかな刺激
溶解あるいは合成非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ビスフェノールAジグリシジルエーテル・ビスフェノールA コポリマー	ウサギ	軽度の刺激
ジシアンジアミド	専門家による判断	軽度の刺激
溶解あるいは合成非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	ウサギ	刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ビスフェノールAジグリシジルエーテル・ビスフェノールA コポリマー	モルモット	区分されない。
ジシアンジアミド	モルモット	区分されない。
溶融あるいは合成非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	ヒト及び動物	区分されない。

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ビスフェノールAジグリシジルエーテル・ビスフェノールA コポリマー	ヒト	区分されない。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
ビスフェノールAジグリシジルエーテル・ビスフェノールA コポリマー	In vivo	変異原性なし
ビスフェノールAジグリシジルエーテル・ビスフェノールA コポリマー	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ジシアンジアミド	In vitro	変異原性なし
溶融あるいは合成非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	In vitro	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
ビスフェノールAジグリシジルエーテル・ビスフェノールA コポリマー	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
ジシアンジアミド	経口摂取	ラット	発がん性なし
溶融あるいは合成非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ビスフェノールAジグリシジルエーテル・ビスフェノールA コポリマー	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 750 mg/kg/day	2 世代
ビスフェノールAジグリシジルエーテル・ビスフェノールA コポリマー	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 750 mg/kg/day	2 世代
ビスフェノールAジグリシジルエーテル・ビスフェノールA コポリマー	皮膚	発生毒性は区分されない	ウサギ	NOAEL 300 mg/kg/day	器官発生期
ビスフェノールAジグリシジルエーテル・ビスフェノールA コポリマー	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 750 mg/kg/day	2 世代
ジシアンジアミド	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	交配前および妊娠中。
ジシアンジアミド	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	44 日
ジシアンジアミド	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	交配前および妊娠中。
溶融あるいは合成非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 509 mg/kg/day	1 世代

溶融あるいは合成非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 497 mg/kg/day	1 世代
溶融あるいは合成非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/day	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ビスフェノールAジグリシジルエーテル・ビスフェノールA コポリマー	皮膚	肝臓	区分されない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	2 年
ビスフェノールAジグリシジルエーテル・ビスフェノールA コポリマー	皮膚	神経系	区分されない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	13 週
ビスフェノールAジグリシジルエーテル・ビスフェノールA コポリマー	経口摂取	聴覚系 心臓 内分泌系 造血器系 肝臓 眼 腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	28 日
ジシアンジアミド	経口摂取	腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	NOAEL 6,822 mg/kg/day	13 週
溶融あるいは合成非晶質シリカ（結晶質シリカを含まない）	吸入した場合	呼吸器系 珪肺症	区分されない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく

吸引性呼吸器有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの 1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。 セクション 2 の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生毒性（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ビスフェノールAジグリシジルエーテル・ビスフェノールA コポリマー	25036-25-3		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
ジシアンジアミド	461-58-5	ブルーギル	実験	96 時間	LC50	>1,000 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>1,000 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	3,177 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	310 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	25 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	シマミミズ	実験	14 日	LC50	>3,200 mg/kg (乾燥重量)
熔融あるいは合成非晶質シリカ (結晶質シリカを含まない)	112945-52-5	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
熔融あるいは合成非晶質シリカ (結晶質シリカを含まない)	112945-52-5	ミジンコ	実験	24 時間	EC50	>100 mg/l
熔融あるいは合成非晶質シリカ (結晶質シリカを含まない)	112945-52-5	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
熔融あるいは合成非晶質シリカ (結晶質シリカを含まない)	112945-52-5	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	60 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ビスフェノールAジグリシジルエーテル・ビスフェノールA コポリマー	25036-25-3	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	7 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI (1)
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 生分解性	28 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	0 DOC除去%	OECD 301E - 修正OECDスクリーニング試験
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 水生固有生分解性	14 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	0 DOC除去%	OECD 302B Zahn-Wellens/EVPA試験
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 生分解性	61 日	二酸化炭素の発生	1.1 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 309 好氣的表層水生分解性シミュレーション試験
熔融あるいは合成非晶質シリカ (結晶質シリカを含まない)	112945-52-5	データ不足			N/A	

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ビスフェノールAジグリシジルエーテル・ビスフェノールA コポリマー	25036-25-3	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	7.4	推定値：生態濃縮係数
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 BCF-Carp	42 日	生物濃縮係数	<=3.1	OECD305-生体濃縮度試験
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	-0.52	OECD107 log Kow フラスコ振盪法
熔融あるいは合成非晶質シリカ (結晶質シリカを含まない)	112945-52-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足し	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

		ている。				
--	--	------	--	--	--	--

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意**国内規制がある場合の規制情報**

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない）

15. 適用法令**国内法規制及び関連情報****日本国内法規制（主な適用法令）**

地方労働局長宛て通達 エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害の防止について 昭和57年6月8日基発第339号
 本製品は下表の毒物及び劇物取締法の情報が表示されている物質を含むが、毒物及び劇物取締法の製剤には該当しない。

主な法規制物質

法規名			
成分	安衛法（表示・通知）	化管法	毒劇法
ジシアングジアミド	該当なし	該当なし	劇物（有機シアン化合物及びこれを含有する製剤）

16. その他の情報**改訂情報**

セクション1：担当部門の電話番号 情報修正.
 セクション1：担当部門名 情報修正.
 セクション3：成分表 情報修正.
 セクション5：火災時情報（消火剤） 情報修正.
 セクション6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
 セクション7：貯蔵情報 情報修正.
 セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
 セクション8：職業暴露情報 情報修正.
 セクション8：保護具－吸入 情報修正.
 セクション11：急性毒性の表 情報修正.
 セクション11：発がん性の表 情報修正.

セクション11：生殖胞変異原性の表 情報修正.
セクション11：生殖毒性の表 情報修正.
セクション11：呼吸器感作性の表 情報修正.
セクション11：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション11：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション11：皮膚感作性の表 情報修正.
セクション11：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション12：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション12：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション12：生態濃縮性情報 情報修正.
セクション15：法規名 - 表 情報修正.
セクション15：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません、本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。